

建築構造物の災害後の機能維持／早期回復 を目指した構造性能評価システムの開発



2009年3月11日(水曜日) JIA 建築家会館・1階大ホール

CPD 2.5単位

平成19年の新潟県中越沖地震では自動車用の部品工場が被災したために、多くの自動車メーカーで国内工場の製造ラインを数日間停止する事態となりました。災害時に重要な業務が中断しないことや、もし中断しても目標とする復旧時間内に機能を回復させて重大な損益や評価の低下から企業を守る戦略である「事業継続計画」(BCP/Business Continuity Plan)が注目されています。

建築研究所では平成19年度から3年計画で「建築構造物の災害後の機能維持／早期回復を目指した構造性能評価システムの開発」を開始しています。建築物各部分の損傷が建築物機能の継続／早期回復に及ぼす影響を取り上げて、機能回復性評価指針とそこに用いるデータベースのシステム構築を目指すとともに一般向けおよび専門家向けの説明ツールをとりまとめる予定です。

まだ作業中であるものの本研究の意義や今後の成果物(事務所・病院・集合住宅)の方向性等について建築研究所国際地震工学センター上席研究員の齊藤大樹氏に解説していただきます。

●セミナー

日時: 2009年3月11日(水曜日) 18:00pm~20:30pm

会場: JIA 建築家会館・1階大ホール

東京都渋谷区神宮前 2-3-18

地下鉄 銀座線「外苑前」駅下車徒歩5分

定員: 100名(先着順受付)

受講料: ¥2000(税込み)(¥1000:メンテナンス部会員)

講師: 建築研究所国際地震工学センター上席研究員

齊藤大樹(さいとうたいき)氏

1. 業務継続計画(BCP)について
2. サブテーマ1(評価体系)について
3. サブテーマ2(データベース)について
4. サブテーマ3(普及促進)について
5. E-ディフェンス実験について
6. 質疑応答



平成7年の阪神淡路大震災では集合住宅の壊滅的な被害は比較的少なかったが「すまい」としての機能が失われテント村などにおける厳しい生活を長期間強要されることになった

主催: 日本建築家協会関東甲信越支部メンテナンス部会 後援予定: JASO耐震総合安全機構

申込: 下記の参加申込書にご記入のうえ3月4日(水)迄にFAXにて日本建築家協会までお申し込みください

申込先: JIA 日本建築家協会/関東甲信越支部/〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館 (担当: 菊地) TEL 03-3408-8291

参加申込書 ○印を付けてください

FAX 03-3408-8294

<input type="checkbox"/> プロフェッショナルのための技術セミナー			
氏名	他名	受講料: ¥2000 (¥1000) 円 ×	人
勤務先	Tel	Fax	
所属	<input type="checkbox"/> メンテナンス部会会員 <input type="checkbox"/> JIA 会員 <input type="checkbox"/> JASO 会員 <input type="checkbox"/> その他		
JIA 会員番号	No.		